

高校生とサイエンスを探究しよう 札幌市中文連理科ワークショップ

日時：2014年8月16日(土) 13:00～16:00

場所：本校、野幌森林公園

講師：本校科学部員、理数科生徒 11名

参加者：札幌市中学生 56名

ワークショップ：1 野外観察と探究 1時間。講師が野幌森林公園を案内しながら、本校科学部がアライグマの映像を取得した調査地と調査方法を紹介し、野外調査手法を学ぶ

2 ラボ実験と探究：4つのワークショップから各生徒が2つを選択してローテーションを行う。(1つのワークショップあたり30分) いずれのワークショップでも、テーマ設定や実験手法について、講師が中学生に問いかけながら進める。

ラボ1：楽器はなぜ鳴るの？(物理)

ラボ2：イオンを目で見えるには？(化学)

ラボ3：化学反応の速さをコントロールするには？(化学)

ラボ4：三秒ルールを確かめるには？(生物)

中学生の感想抜粋

- ・森林には明確な役割があり、さまざまな動植物が生息できることのすばらしさを改めて考えることができた。
- ・動植物の生態を丁寧に教えてくれたので、次に森に行く機会には意識して自然を観察したい。
- ・野外で質問に、わかりやすく返答してくださる講師がすごい。
- ・高校生が講師だったので、教える側と教えられる側の壁がなく、良いやり方だと思った。私たちに問いかけ、一緒に実験のやり方を考えたことが一番印象的だった。
- ・金属樹の実物を見ることで、イオンを現実のことと捉えることができ、早く高校で学んでみたいと思った。
- ・講師のように、しっかり課題を持ち、研究していきたい。

